

## 第5回 アスタキサンチン研究会

### ご挨拶

アスタキサンチン研究会も 5 回目を迎えることとなった。まず最初に、今回のお世話を御願  
いした矢澤一良教授に研究会会員を代表して御礼申し上げたい。本研究会はアスタキサンチ  
ンの基礎研究から臨床応用までを討議するために、アスタキサンチンに興味をもつ学際的な  
研究者の集まりとして始まった経緯がある。研究会を始めたころは「アスタキサンチン」といつ  
ても知らない方が多かったように記憶するが、最近では抗酸化サプリメントとして市民権を得てき  
ているようにも感じる。今回の研究会でも臨床的エビデンスを求めたシンポジウムも企画されて  
いるようであり、ますます楽しみになってきた感がある。

さて、アスタキサンチンであるが、今後の展開はいかなるものか？期待と不安がある。抗酸  
化のサプリメントとして国民の健康維持・増進に貢献できるよう多くの期待がある。しかし、より  
一層のステップを目指して、「特定保健用食品」への挑戦をすべきではないかと考えるのは小  
生だけであろうか？この研究会が基盤となって、特保への取り組みを始めるべきではないかと  
も考えている。会員みなさんの忌憚のないご意見を伺いたい。

2009年9月吉日

アスタキサンチン研究会会長  
吉川敏一  
(京都府立医科大学大学院医学研究科 教授)